

山形県立村山特別支援学校

《施設概要》

事業主体：山形県
施設名称：山形県立村山特別支援学校
所在地：山形市大字谷柏元下谷柏 43
用途：学校（特別支援学校）

《使用木材》



杉 427.3 m³、米ヒバ 21.2 m³、
唐松 45.3 m³、米松 29.0 m³、合板 37.9 m³
計 560.7 m³（うち県産木材 430.8 m³）



《外観写真》

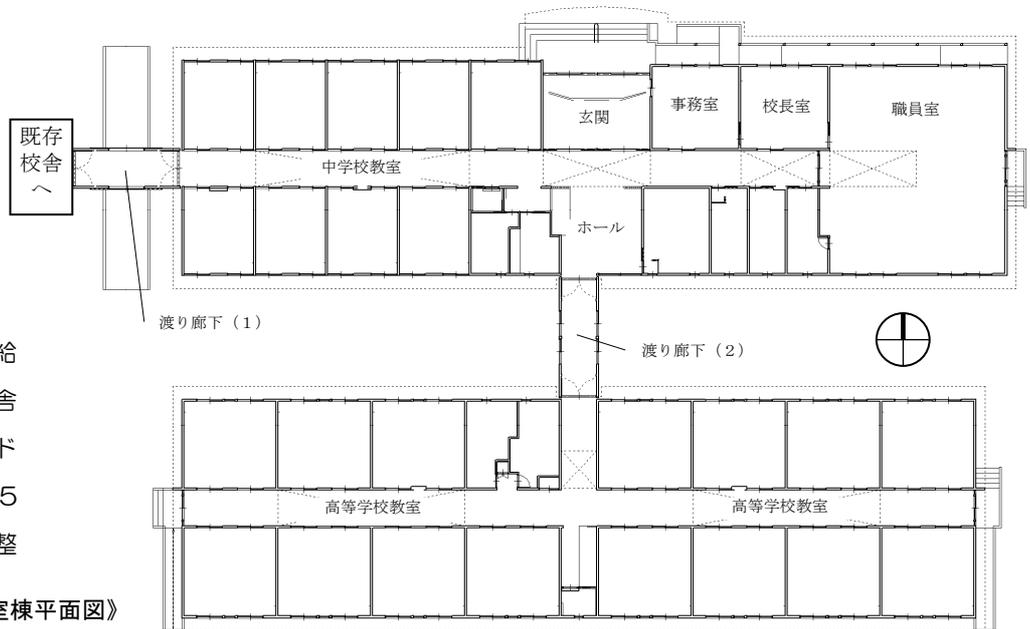


《北立面図》

●施設の特徴、内容

村山特別支援学校は平成20年度に新設開校したが、近年入学を希望する知的障がい児童生徒が増加しており、教室数不足の解消のため校舎棟を増築し、あわせて自校給食施設の増築を行った。既存校舎9教室を小学部とし、グラウンド部分に中学部9教室と高等部15教室、駐車場に自校給食施設の整備を行った。

《教室棟平面図》



■建物概要

階数：地上1階
構造：木造（渡り廊下、給食施設鉄骨造）
敷地面積：32,726 m²
延床面積：1,998.36 m²
各階床面積：（教室棟北棟）880.47 m²（教室棟南棟）872.65 m²
（渡り廊下）21.6 m²+24.3 m²（給食施設）199.34 m²
最高軒高：4.16m
最高高さ：8.35m
耐火・準耐火：（教室棟）その他の建築物
（渡り廊下）耐火建築物（給食施設）準耐火建築物

■主要仕上

外部仕上

（屋根）長尺カラガルバリウム鋼板立ハゼ
及び横葺き t0.4mm
（外壁）窯業系サイディング縦及び横張り t16mm

内部仕上

（床）複合フローリング張り t12mm
（壁）ビニルクロス張り
（天井）ロックウール化粧吸音板 t9mm
（その他）腰壁：杉羽目板張り t12mm

●設計における工夫点 1

既存の小学部教室の視界確保と、より多くの駐車スペース確保のため、増築する建物の配置を計画した。

教室数を多く要求されている高等部を教室棟南棟に配置し、中学部と、既存校舎との行き来が多い管理部門を教室棟北棟に配置することで、管理・運営のしやすい計画とした。

昇降口の位置を建物の中央に配し、また北棟と南棟を行き来するための渡り廊下(2)も建物の中央に配置することで、各室への動線に配慮した。



《ホール》



《南棟廊下》

●設計における工夫点 2

県の「山形県建築工事県産木材活用指針」では、木造を採用した場合の県産木材使用率の目標値を 70%としており、この建物では 76.8%と、目標値を上回る県産木材を使用した。

●木材を採用した理由

内装について、腰壁に木材を使用し、構造材も出来る限り表しとすることで、木材の暖かみや風合いが利用者に伝わる豊かな空間を造ることを目指した。



《教室》



《職員室》

■事業概要

設計者：有限会社エフティ共立建築事務所

施工者：(建築)株式会社市村工務店

(電気)アベ電工株式会社

(機械)第一工業株式会社

工期：平成 26 年 10 月～平成 27 年 7 月

設計費：25,554 千円

建設費：(建築) 349,643 千円

(電気) 108,049 千円

(機械) 127,874 千円

(合計) 585,565 千円

1㎡あたりの建設費：293 千円